

鴻 巢 市 水 道 事 業
中 期 經 営 計 画 達 成 状 況 報 告 書
(平成20年度～平成22年度)

平成23年11月

鴻巢市建設部水道課

中期経営計画達成状況

1) 財政収支の見直しに関する目標

(計画)

取り組み方針	具体目標	目標達成のための取り組み内容
1. 有収率の向上	94%	漏水対策(漏水調査、布設替)の実施
2. 料金収納率の向上	収納方法の多様化	①コンビニ収納開始 ②口座振替の推進
3. 費用の削減	経常収支比率108.6%	①企業債繰上償還による金利負担の低減 ②行政評価による事業の見直し ③人件費等の費用の削減

(目標の達成状況)

1. 有収率

計画前(H19)	H20	H21	目標年次(H22)
93.5%	92.9%	91.6%	92.1%

有収率は目標に達しませんでした。その主な要因は、現在、計画的、集中的に行っている、石綿セメント管布設替事業等の管路整備事業に伴う洗管作業水の増加と、経年劣化の進行による配水管、給水管の地下漏水量の増加によるものと思われます。

2. 料金収納率の向上

・収納方法の多様化

- ①コンビニ収納開始 平成20年度から取り扱いを開始
- ②口座振替の推進

(口座振替割合)

計画前(H19)	H20	H21	目標年次(H22)
87.9%	85.9%	85.0%	85.0

口座振替割合は低下傾向になっています。これは、平成20年度にコンビニ収納を開始した影響と思われます。

3. 費用の削減

・経常収支比率

計画前(H19)	H20	H21	目標年次(H22)
104.7%	102.6%	105.3%	105.7%

経常収支比率は向上しましたが目標値に達しませんでした。要因は、給水収益が計画における目標年次の見込み額を下回ったためです。

①企業債繰上償還による金利負担の低減

金利6.0%以上の企業債について、平成19年度約3億3,000万円、平成20年度約2,700万円の繰上償還を行ない約6,700万円の金利負担を低減しました。

②行政評価による事業の見直し

なし

③人件費等の費用の削減

(人件費の総額)

計画前(H19)	H20	H21	目標年次(H22)
276,975千円	258,159千円	200,237千円	181,586千円

主に料金徴収業務の全面委託に伴う職員数削減により大幅な減額となりました。

2)定員管理、給与の適正化に関する目標

(計画)

取り組み方針	具体目標	目標達成のための取り組み内容
1. 水道事業職員の削減	26人	①水道事業職員の削減 ②民間委託の推進による職員数の見直し
2. 給与等の適正化	超過勤務手当等の削減	市の計画に合わせ職員給与等を見直し

(目標の達成状況)

(職員数) ※4月1日現在在籍者

計画前(H19)	H20	H21	目標年次(H22)
34人	34人	26人	23人

料金徴収業務の全面民間委託等を実施したことに伴い、目標値を上回る削減となりました。

(超過勤務手当)

計画前(H19)	H20	H21	目標年次(H22)
8,468千円	11,349千円	4,199千円	3,329千円

業務合理化の推進により、大幅な減額となりました。(H20が特に多い理由は、料金及び料金システム統合業務のためです。)

(職員給与)

一般会計職員に準じ見直しを実施しました。

3) サービス向上に関する目標

(計画)

取り組み方針	具体目標	目標達成のための取り組み内容
1. 満足度の維持・向上	事業計画に基づく上水道の整備	水道事業基本計画を着実に実施
2. 電子申請の推進	電子申請利用の拡大	市の計画に合わせ水道の諸手続きの電子申請を充実し利用の拡大を図る
3. 情報公開の推進	情報公開内容の充実	①水道事業のホームページの充実 ②出前講座の実施
4. 利用者ニーズの把握	利用者からの意見を得る機会の充実	①審議会の実施 ②パブリックコメントの実施 ③出前講座等の機会に利用者の意見を聴取

(目標の達成状況)

1. 満足度の維持・向上

平成23年度市民アンケート調査において、対象施策中満足度が最も高い結果となっています。

2. 電子申請の推進

使用開始、中止の手続きについて、電子申請による受付を開始しました。

3. 情報公開の推進

①水道課ホームページの内容充実及びレイアウトの見直しを行いました。

②市民団体からの要請により期間中5回実施しました。

4. 利用者ニーズの把握

①期間中該当案件なし

②期間中該当案件なし

③出前講座開催時にアンケートを実施

4) 業務の効率化に関する目標

(計画)

取り組み方針	具体目標	目標達成のための取り組み内容
1. 民間委託の推進	各種業務の委託の推進	民間委託できる業務の検討、実施
2. 内部業務の効率化	業務効率化のためマニュアル化、IT技術の導入	①業務の標準化やマニュアル化 ②遠方監視システムの導入
3. 情報の共有化	水道に関する情報共有システムの整備	水道事業内のLANシステムを用いた共有データの整理

(目標の達成状況)

1. 民間委託の推進

平成21年度から、料金徴収業務について民間業者への全面委託を実施しました。

2. 内部業務の効率化

平成22年度から、全市域を対象とした配水、給水情報の電子化に着手しました。

3. 情報の共有化

市内LANシステムを用いてデータの共有化を推進しました。

5) 人材育成に関する目標

(計画)

取り組み方針	具体目標	目標達成のための取り組み内容
1. 職員階層別研修等	最終年度までに1人1回	公務員としての資質向上を図るための研修への参加
2. 専門研修(内部、外部)	最終年度までに16人 技術管理者資格1人以上	①内部研修の実施 ②外部研修への参加
3. 人事管理システムの整備	適正な人事評価 職員意欲の向上	適正な人事評価のできる新たな人事管理システムの整備

(目標の達成状況)

1. 職員階層別研修等

市の計画に基づく職員研修への派遣 期間中7人7回

2. 専門研修(内部、外部)

外部研修への派遣 期間中26人66回 ※内部研修は未実施

水道技術管理者資格取得者 1名

3. 人事管理システムの整備

市の人事管理システムで、実績評価、能力評価を実施